

平成30年度

寒川町「市民討議会」報告書

話そう・変えよう 七夕に願いを込めて…

さむかわ井戸端会議

テーマ

「こころ・おもい・叶える 初めての我がまちプロデュース」

～寒川町民の力をまちづくりで発揮！～

寒川町「市民討議会」実行委員会

－ 目 次 －

はじめに	03
1 市民討議会の実施概要	
(1) 日程等	04
(2) 討議テーマと情報提供	04
(3) スケジュール	04
(4) 参加者内訳	05
2 市民討議会の討議のヒント	
(1) 討議1	06
(2) 討議2	06
3 市民討議会の提言のまとめ	
(1) 討議1	07
(2) 討議2	13
(3) 参加学生の感想と意見	18
4 アンケートの結果	
(1) 事前アンケート	20
(2) 事後アンケート	22
(3) 不参加者アンケート	26
5 講評	31
6 寒川町「市民討議会」実行委員会の動き	32
あとがき	33



はじめに

2018年7月7日、寒川町「市民討議会」が同町初の試みとして開催されました。そして、ここに、その報告書が完成し、みなさまにお届けすることができます。これは、私たち実行委員会としての大きなよろこびです。市民討議会にご協力下さったすべてのみなさまに、心より感謝申し上げます。

本討議会は、寒川町の発案により、寒川青年会議所と文教大学を加えた三者が協定（「寒川町『市民討議会』の実施等に関する協定」）を結び、実施にいたりました。それぞれの母体から代表者を送り出す形で実行委員会が組織され、同委員会が企画・運営を担う方法が採用されました。このように、市民討議会を、自治体・市民団体・研究機関の協力により開催するのは、全国的に見れば、なかなかめずらしい運営方法のようです。それゆえ、三者協力の実行委員会方式そのものが、寒川町の特徴ある「協働」の取り組みとなったと言えるように思います。

実行委員会は、この討議会を、寒川初であることと同時に、寒川ならではの市民参加の取り組み（寒川発）にもなるよう、企画を練ることを心がけました。その検討から、「こころ・おもい・叶える 初めての我がまちプロデュース」～寒川町民の力をまちづくりで発揮！～という全体テーマを掲げました。また、その議論の過程で、『寒川町「市民討議会」 話そう・変えよう 七夕に願いを込めて…さむかわ井戸端会議』という、討議会のキャッチフレーズを定めることにしました。これらには、いずれも、寒川に暮らすお一人お一人が、これからの地域社会形成の主人公であってほしいとの思い、そして、話し合いをもとに人々が協力しながら、地域での暮らしを演出していくような町であってほしいとの願いがイメージされています。

市民討議会は、抽選による参加者の募集を含む点に注目が集まります。また、話し合いを経て、参加者の「私たち」の意見を提示する過程に特色があります。本報告書には、そのような場の、当日の話し合いの様子が記載されています。初めてであったがゆえに、実行委員会の企画・運営には不備があったと思いますが、それでも、出席者のみなさまの多大なるご協力により、討議会会場は高揚感に満たされました。こうした臨場感が、本報告書を通して読者諸氏に伝わるなら、まことに幸いです。さらには、この討議会の経験が、寒川町のますますの発展につながる「協働」のヒントとなるなら、幸甚の至りでございます。

寒川町「市民討議会」実行委員会 委員長
山田 修嗣（文教大学）

1 市民討議会の実施概要

(1) 日程等

- ア 日 時 平成30年7月7日(土) 午前9時30分～12時25分
イ 会 場 シンコースポーツ寒川アリーナ(寒川総合体育館)1階多目的室
ウ 参加者 27名
エ 主 催 寒川町「市民討議会」実行委員会
(文教大学湘南総合研究所、一般社団法人寒川青年会議所で構成)

(2) 討議テーマと情報提供

- ア 全体テーマ
「こころ・おもい・叶える 初めての我がまちプロデュース」
～寒川町民の力をまちづくりで発揮!～
- イ 個別テーマ
討議1「ブックマーケットをいっそう楽しんでもらい、来場者を増やすにはどうしたら良いか」
討議2「イベントを支える(企画・運営)スタッフを増やすにはどうしたら良いか」
- ウ 情報提供
討議1「寒川わくわくブックマーケットについて」(協働文化推進課)
討議2「人と人、人とコト、人とモノの化学反応でまちが元気に」
(特定非営利活動法人NPOサポートちがさき 代表理事 益永律子氏)

(3) スケジュール

- 9時30分 開会・主催者挨拶
9時35分 町長挨拶
9時40分 経緯・主旨・進行説明

<グループ討議1>

- 9時50分 テーマの説明(情報提供)①
9時55分 アイスブレイク+グループ討議①
10時40分 休憩
10時45分 グループ討議①発表
11時00分 休憩・投票

<グループ討議 2 >

1 1時05分 テーマの説明(情報提供)②
 1 1時15分 グループ討議②
 1 1時55分 休憩・①の投票結果発表
 1 2時00分 グループ討議②発表・投票

1 2時15分 1日の振り返り
 1 2時20分 ②の投票結果発表
 1 2時25分 閉会

(4) 参加者内訳

	合計	男性	女性	
抽出者	2,500	1,250	1,250	※
承諾者	49	21	28	18歳～78歳、平均48歳
当選者	30	13	17	18歳～73歳、平均43歳
落選者	19	8	11	
参加者	27	10	17	18歳～73歳、平均44歳
34歳以下	8	2	6	
35～49歳	9	3	6	
50～64歳	7	3	4	
65歳以上	3	2	1	

※ 18歳～79歳、男女比1:1で無作為抽出。ただし、平成12年4月2日以降に生まれた者（高校生）、町議会議員、町職員は除く。



2 市民討議会の討議のヒント

(1) 討議1「ブックマーケットをいっそう楽しんでもらい、来場者を増やすにはどうしたら良いか」

内容	討議のヒント・きっかけ
自己紹介	思い出の1冊。
ブックマーケットの拡充	ブックマーケットと聞いて、イメージするものは何でしょうか。どのような場所になるといいなと思いますか。
	来場者を増やすために、ブックマーケットに「あったらいいな」と思うイベント（アトラクション）は何ですか。
	ブックマーケットを広報するにはどのような手段が有効でしょうか。

(2) 討議2「イベントを支える（企画・運営）スタッフを増やすにはどうしたら良いか」

内容	討議のヒント・きっかけ
自己紹介	討議1でおもしろかったアトラクションは何でしたか。
スタッフ拡充の呼びかけ方法	アトラクションに必要な人、団体は誰でしょうか。
	討議1で興味を抱いたアトラクションに必要なスタッフ例に対し、あなたらなどのような感想を持ちましたか。
	市民参加のブックマーケットを実現するため、スタッフ募集を呼びかけるためのさまざまな条件を話し合ってみましょう。

3 市民討議会の提言のまとめ

(1) 討議1「ブックマーケットをいっそう楽しんでもらい、来場者を増やすにはどうしたら良いか」

討議1では、来場者を増やすために、ブックマーケットに「あったらいいな」と思うアトラクションを考え、どうしたら多くの住民の方々にブックマーケットへ来てもらえるかを参加者の自由な発想で討議した。

グループA	グループ意見
(1) あったらいいなと思うアトラクション	<ul style="list-style-type: none"> ・コロ坊がいて棒コロが無いのが気になった →棒コロは店によって味も違うので棒コロ選手権を開催してはどうか ・B級グルメに力を入れ過ぎるとイベントが変わってしまうのではないか ・部活動の発表や出し物を増やした方がいい、文化部の作品展示、推薦図書等
(2) ブックマーケットがどんな場所になると良いか	<p>【楽しめる場所にする工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供向けアトラクションを増やすと子連れでも行きやすい ・昨年子連れで参加したが子供が楽しめていなかった ・本の趣味が偏っていたから、絵本やライトノベル等、本の種類を増やして欲しい ・ハンモックで本を読める、くつろいで本を読めるスペースが欲しい ・音楽は軽音ではなく、琴などが相応しい ・寄付した本を無料で読めるスペースが欲しい
(3) 来場者を増やすための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・読書をする人が多いのは50～60代だと思っているので、その世代が集まりやすい場づくりが集客の近道になる →例えば詩吟、俳句、踊りのワークショップを開催等 ・子供向けには紙芝居、読み書き教室、主婦向けにはフラワーアレンジメント教室等を開催してはどうか ・本の売上の一部を図書館の充実の為に寄付するシステムを作る、または会場に寄付箱を用意するのはどうか ・地元企業が積極的に出店したら良いPRになり、社員も来る為、イベントの集客に繋がる

グループB	グループ意見
(1) あったらいいなと思うアトラクション	<p>【見直す点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売らないけど本を紹介できるブース →本への関心が高まる、 ・古本市でも売り手のすすめが知りたい ・本も一定の量では足りないから一般企業などから本の提供があってもいい ・読んでほしい本、面白い本を出してほしい ・本の分野が分かると良い（小説、エッセイなど） ・子ども服や子どものおもちゃを売る ・子どもへの読み聞かせブースがあってもいい ・保育園での出し物があると良い ・本以外のイベント要素が必要 →おいしいごはん、読書しながら飲食できるスペース
(2) ブックマーケットがどんな場所になると良いか	<p>【目的を持った場所にするには】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おしゃれな感がほしい ・ブックマーケットは本が主体なのか分からない ・何を目的にブックマーケットをやっているか分からないため、目的を明確にするべき →文化を発信するため、本好きを増やすためなど ・売上金を地域に還元してもいいのではないかと →売上金の一部を図書館の新しい本にあてる
(3) 来場者を増やすための工夫	<p>【周知方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所的に行くのが大変なので場所を変えてみる ・図書館前で図書館と一緒にやってしまう →図書館のPR、本のPRにもなる ・SNS（ツイッター）を使う ・まちの外の人のことも考えて発信していく必要がある ・周知方法と場所を考える必要がある ・開催時期を考える →お花見の時期に開催すればお花見ついでに来るかも ・ブックマーケットへ行くメリット（特典）をつくる →ブックマーケットに行ったら、コメダ珈琲1杯無料など

グループC	グループ意見
(1) あったらいいなと思うアトラクション	<ul style="list-style-type: none"> ・健康器具関連の体験コーナー（骨密度測定器など） ・健康維持に関するワークショップ ・昔の遊び体験コーナー ・ヒーローショー（子どもを呼び込む、最近では仮面ライダー等が母親にも人気がある） ・新しいゆるキャラのお披露目（コロ棒を変身させるなど） ・飲食の屋台（お祭りで出るようなもの） ・お笑いライブ、寄席、落語（地元出身者などの） ・ミニ移動動物園（犬、猫、アルパカなど人気の多い動物と触れ合えるスペースをつくる） ・猫カフェ ・ものづくりコーナー（栞づくり、本棚づくり、香水づくりなど） ・寒川神社をアピールするコーナー ・寒川ツアー（まちあるき、各エリアの名所を周るスタンプラリー） ・寒川を知る、再発見できる企画やコーナー
(2) ブックマーケットがどんな場所になると良いか	<p>【魅力的なものにするには】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなでつくりあげるもの ・まちの一体感を感じられるもの ・寒川に住んでいない方（外国の方）にも来てもらえるもの ・まちの魅力を発信できる場所 ・お祭りの様な雰囲気を感じさせる場所（おみこしなども用意すると楽しさが増すのでは） ・本以外にも楽しみを感じることができる場所
(3) 来場者を増やすための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の十分な確保 ・開催場所を分散させる（倉見から駅前は行きにくい） ・広報の仕方の工夫 <ul style="list-style-type: none"> →ケーブルテレビでの告知、町内放送、ラジオ（キャッチーな話術で興味を惹く）、コミュニティバスの中吊り、回覧板、学校でイベントのチラシを配布してもらおう、チラシに抽選券やクーポンなどをつける ・今度からどのようにイベントを知ったのか来場者にアンケートをとり、告知の仕方を改善していくことをしたほうが良いのでは

グループD	グループ意見
(1) あったらいいなと思うアトラクション	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代向けのアトラクションが必要 ・自作の作品を購入している店 ・作家や専門家など、本に詳しい人が参加するイベント ・参加者が本を紹介できる場 ・B級グルメなどを扱う飲食店 ・移動式図書館、図書館の出張所 ・葉、ブックカバーの制作 ・子どもの頃の遊びが体験できる場（めんこ、ベーゴマ、竹とんぼ等） ・ゆるキャラのイベント ・職業体験やボランティア活動ができる機会
(2) ブックマーケットがどんな場所になると良いか	<ul style="list-style-type: none"> ・親が子どもと一緒に楽しめる →特に子どもが興味をもつ出し物、イベントがある ・気軽に参加可能であること ・自作の作品等を気軽に出品できる →現地に行かなくても商品の出品が可能（主催者側等が回収してくれる） ・教育施設（保育園、幼稚園、小・中学校、高校、大学、図書館など）が参加できる
(3) 来場者を増やすための工夫	<p>【参加者を確保するには】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目立つ場所に宣伝用の掲示物（駅、商業施設など） ・Webでの伝わりやすい情報発信 ・寒川町の情報アプリの作成 ・紙媒体の広告の活用（回覧板、広報誌など） ・イベント名の改良 ・参加者にもイベントをPRしてもらう ・寒川町と他の自治体との連携でイベントを開催する ・寒川町以外からも参加者を募る ・子供の興味関心を惹いて大人も巻き込む（親子体験施設、イベントなど） ・若い世代を中心に地域全体で企画・運営 ・学校や図書館など教育施設に働きかけ参加を促す ・会議に出席できなくとも意見を発信できる仕組みが必要 ・寒川町の情報アプリでアイデアなどを募る ・様々なテーマをイベント内に混在させ多方面からの参加者を募る

グループE	グループ意見
(1) あったらしいなと思うアトラクション	【イベントの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせや紙芝居コーナー ・古本は衛生的に気にする人も居るから状態ごとに分けて売れるとよい ・手芸の本等の趣味雑誌系は、本に書いていることを実際に体験できるコーナーを作る ・室内開催の方が落ち着いて見られる
(2) ブックマーケットがどんな場所になると良いか	<ul style="list-style-type: none"> ・会場全体が落ち着いた雰囲気がある方がよい
(3) 来場者を増やすための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の集客を狙うなら、ポスター掲示板以外にもインターネットやSNS、ショッピングモール等の利用の際に告知をできると良い ・駅近辺より、中央公園を利用した方がスペースも広く、子連れでも安心して参加できる ・子供を中心にイベントを作りあげると親もついてくる ・駐輪場が少なすぎる



グループF	グループ意見
(1) あったらしいな と思うアトラクショ ン	<ul style="list-style-type: none"> ・本を自由に読めるスペース →試し読みができる、靴を脱いで寝転がれるなどリラ ックスしながら本が読める ・スタバのようなカフェの設置 →お茶やコーヒーなどを飲みながら本を読める ・小中学生の図書でお勧めのものを展示するコーナー ・フラワーアレンジ、イスや机づくりなどを体験できる コーナー ・折り紙体験 ・中高生、大学生の部活やサークルの発表会
(2) ブックマーケッ トがどんな場所にな ると良いか	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しめる場所
(3) 来場者を増やす ための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックマーケットの趣旨を決める ・子ども向けの本のラインナップを充実させる ・本を図書館に寄付し、当日販売する →利益は図書館設備の充実に当てる ・本の回収方法をもっと気軽に、簡単にできるものにする (学校等に持ってくるだけなど)



(2) 討議2「イベントを支える（企画・運営）スタッフを増やすにはどうしたら良いか」

討議2では、討議1で出たイメージを今後のブックマーケットに反映させるためには、どんな人や組織の力が必要だと考えられるか、さらに自分はどのような力を発揮できそうかを議論した。

グループA	グループ意見
(1) どんな人や組織の力が必要だと考えられるか	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の人 ・学生 ・価値観が違う人同士（様々な人の参加） ・声の大きい人
(2) あなたならどのような力が発揮できそうか	<ul style="list-style-type: none"> ・町外の人がやるよりも町民参加型のイベントの方が盛り上がる ・初めは消極的でも良いからとにかく誘って巻き込む →イベントが完成した時には皆楽しくなっている ・スタッフは大人に限らず学生も巻き込んでいきたい ・SNSでの拡散 →友達からのイイネ！を狙う ・声の大きい人は当日の宣伝、客引き担当 →各自の持っている良いところや得意な部分を活かす ・広告のキャッチフレーズを考える ・各自が参加しているコミュニティで呼びかける ・違う価値観を持った人が集まった方が様々な角度からイベントを作れる
(3) 発揮できる力や強みを活かすうえでの条件や問題点は何か	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会という名前を聞くと萎縮してしまう為、もっとポップな名前を考えた方が良い ・事前の準備スタッフと当日のスタッフを分け、単発的なボランティアを受け入れられるようにする ・自分が好きな部分だけお手伝いできるようなシステムは考えられないか ・謝礼金等はいらない、謝礼金目当ての人が来るため

グループB	グループ意見
(1) どんな人や組織の力が必要だと考えられるか	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の企業 ・主婦 ・子ども ・PTA ・本が好きな人 ・大学生 ・学校 ・地域ごと（自治会単位など） ・商店街 ・子どもたちがポスターを作成する
(2) あなたならどのような力が発揮できそうか	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのつながりを利用して人を集める ・主婦のつながりを使って、子どもたちも巻き込む ・広報ならできるかもしれない ・学校で生徒にポスターを描いてもらう ・チラシの一部に子どものイラストを入れる ・小学校でポスターを配る ・今やっている活動の読み聞かせならできるかも ・企画の時点で市民も関われるようにする ・回覧板にポスターを差し込む
(3) 発揮できる力や強みを活かすうえでの条件や問題点は何か	<ul style="list-style-type: none"> ・運営とイベントへの参加が両方できる ・当日だけのスタッフとして参加できる ・本が好きなら図書券（スタッフ特典）がある ・フレキシブルな参加がOK ・休憩を頻繁にとれる ・子どもや学生が携わることで参加する
(4) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が来るようにイベント専用アプリをつくる ・喫煙所にポスターを張ると見てもらえるかも ・スーパーや飲食店でポスターやチラシを置くと周知につながるかも ・誰に来てもらいたいターゲットを絞ることも必要 →周知の方法も変わる

グループC	グループ意見
(1) どんな人や組織の力が必要だと考えられるか	<ul style="list-style-type: none"> ・“楽しい”と感じながら企画・運営をできる人 ・様々な年齢層の方々（バランスよく） ・ホームページを作成、うまく活用する能力のある人 ・自主性のある人 ・“楽しさ”を他の人に伝播させていくことができる人 ・アイデアがたくさん浮かぶ人 ・クリエイティブな発想ができる人 ・気さくな人 ・役割を快く引き受けてくれる人 ・広いネットワークを持っている人
(2) あなたならどのような力が発揮できそうか	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの活用 ・子どものスポーツチームなどのネットワーク
(3) 発揮できる力や強みを活かすうえでの条件や問題点は何か	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に参加できる雰囲気があればいい ・企画や運営にどのくらい参加する必要があるのか不安 →すべての時間に参加できるわけではない ・企画や運営の進行具合を共有して、時間を有効に効率よく作業できる様にする ・子供を連れていける ・準備の途中でも抜けることができる ・どのような人が参加しているのかが分かれば参加しても良い（人見知り、苦手な人がいるとやりにくい） ・イベント後に「お疲れ様会」みたいなものがあるとよい



グループD	グループ意見
(1) どんな人や組織の力が必要だと考えられるか	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、図書館、その他の教育施設 ・企業（例：CSR活動をしている企業） ・飲食店 ・個人や集団で出店したい人 ・有資格者、有経験者 →例：託児所がある場合…元・現保育士、教員）
(2) あなたならどのような力が発揮できそうか	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画、運営 ・ボランティア活動
(3) 発揮できる力や強みを活かすうえでの条件や問題点は何か	<ul style="list-style-type: none"> ・企画、運営の段階から参加できる仕組みが必要 ・団体として参加しやすい仕組み ・団体に周知させる仕組み ・学びの場（職業体験など）を提供する仕組み ・企画・運営の参加者に対する報酬 ・参加者の負担軽減 →例：保護者…子どもを預かる仕組みの構築 ・様々なアイデアに触れられる機会（イベントの研究会、説明会） ・フリーランスで活動する人が認知される、参加できる仕組み ・個人が団体に参加できる仕組み ・企画・運営に携わる時間を確保できる・できない人に対応を分ける（参加する時間がない人には、会議等に意見を先に述べる機会の提供、会議等で決まった内容の報告をする） ・幼い子どもをもつ親のための託児所（時間的・身体的拘束の低減） ・企画・運営に対する意見を述べるだけの機会
(4) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・教育施設へのPR ・現存のイベント情報を周知するシステムの拡充 ・個人や集団での参加者が宣伝する機会 ・必要な人物像を分かりやすく募集 イベント側が必要としている人物像の情報が得られる媒体、機会 ・必要とされる組織や人材に対して参加の呼びかけなど働きかけをする ・子どもの参加を通じて保護者もイベントに巻き込む

グループE	グループ意見
(1) どんな人や組織の力が必要だと考えられるか	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の商店街、小売店 ・自治体 ・ボランティア ・図書館はあるが、それを支えるサポーターが必要
(2) あなたならどのような力が発揮できそうか	<ul style="list-style-type: none"> ・地元商店小売店への働きかけ
(3) 発揮できる力や強みを活かすうえでの条件や問題点は何か	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持ったテーマであれば無償でも協力する ・作業内容やスケジュールの詳細が事前に分かると予定や興味に合わせて参加しやすいのではないかと ・協力はしたいけど、見返りが欲しい ・達成感が得られるようにしたい
(4) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ単位でのボランティア、自治体など初めから組織がある団体への募集がいいのではないかと ・他イベントの主催者に成功体験等を聞き、イベントの運営を勉強した方がいい ・イベント時以外にも不要になった本やおもちゃを寄付できるところが欲しい

グループF	グループ意見
(1) どんな人や組織の力が必要だと考えられるか	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の身近な人 ・企画や運営が好きだという人 ・人を巻き込むことが上手な人 ・シニアの方々 ・おやじ、おふくろの会 ・若い世代、子どもたち ・学校単位でブースを設置させる ・小中学生の総合学習として子供達やPTA →小中学生は大人気分を味わえるのでは
(2) あなたならどのような力が発揮できそうか	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの活用
(3) 発揮できる力や強みを活かすうえでの条件や問題点は何か	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を気さくな雰囲気なものにする ・当日だけでもよければやる

(3) 参加学生の感想と意見

文教大学 国際学部生

1. 市民討議会の印象・感想

- ・ブックマークの広報の方法について様々な意見が出て面白かった。
- ・発言せず黙ってしまう方はおらず、比較的活発な討議会になった。
- ・マイナスな意見も出たが、自分の住んでいるまちが好きな人が多いと感じた。
- ・ブックマーケットを知らない町民が興味を示していた。
- ・初の討議会で戸惑いがある中、町民の方が積極的に意見を出している姿も見られてよかった。
- ・進行役の進め方（話題の振り方や話題の切り替え等）によって討議の盛り上がり方に差が出ると感じた。
- ・否定的な意見が多かった印象がある。
- ・討議会に出された意見がどこまでどのように使われているのかがいまいち把握できない。
- ・一部の人はネガティブな意見しか話さなかったので、企画に沿った話し合いにならなかったことがあった。

2. 市民討議会の重要性について

- ・様々な立場の町民の意見を聞くことができる貴重な場だと思う。
- ・町役場にとっては普段聞けない意見を聞く場となっている。
- ・町民にとっても、自分のまちについて立場の違う人の意見を聞いて、勉強になったり、新しい発見があったりという場所になるので、貴重な場だと思う。
- ・普段生活者にしか見えない部分、わからない事が聞けるので非常に良いと思う。
- ・町民が感じたことを町に直接意見を伝えられる機会はなかなかないと思うので、町民の方にとって貴重だと感じる。
- ・世代をランダムで抽出する討議は町民の中にも新たな気づきが生まれたり、行動を促したりする効果があるように感じられた。
- ・町役場の方が実際にいるので町民が行政を身近に感じる場だと思った。
- ・町民同士、行政と町民などの情報交換の場にもなると思った。

3. 市民討議会の企画・運営について

- ・模擬討議でテーマの内容を整理できていたので町民の方も意見がスムーズに出ていた印象を持った。

- ・シールで選ぶ投票制は、参加者にとって討議の良いモチベーションになっていた。
- ・今回はブックマーケットという比較的楽しい議題の討議だったので、違うジャンルでの討議も行ってみたい。
- ・学生が携わることで学生にとってはいい経験になると思う、文教大学だけではなく他大学も支援できたらもっといろんなつながりが生まれると思った。
- ・自己紹介の時間でJ Cの方が長く話しすぎて間に合わなかった。
- ・グループごとの人数のばらつきは町民を不安にする要素にもなり得る。



4 アンケートの結果

(1) 事前アンケート 回答：27名

【参加者の属性について】

設問1：職業		
①	農業・漁業	1
②	自営業・経営者	0
③	自由業	0
④	家事手伝い	0
⑤	公務員・団体職員	2
⑥	専門技術職	2
⑦	事務職	7
⑧	販売・サービス職	0
⑨	製造・労務職	0
⑩	パート・アルバイト	2
⑪	家事専業	6
⑫	学生	2
⑬	無職	2
⑭	その他	3

設問2：家族形態		
①	単身	0
②	(自身の) 夫婦のみ	6
③	未婚の子どもと同居	9
④	既婚の子どもと同居	0
⑤	親世代と同居	8
⑥	三世代以上が同居	3
⑦	その他	1

設問3：住居形態		
①	持ち家（戸建て）	21
②	借家（戸建て）	1
③	集合住宅（分譲）	4
④	集合住宅（賃貸）	1
⑤	公営住宅	0
⑥	社宅	0
⑦	その他	0

設問4：町内での居住年数		
①	1年未満	1
②	1年～5年未満	2
③	5年～10年未満	4
④	転入後10年～20年未満	4
⑤	転入後20年以上	12
⑥	生まれてからずっと	4

設問5：寒川での定住意向		
①	住み続けたい	11
②	できれば住み続けたい	10
③	できれば転出したい	2
④	転出したい	2
⑤	わからない	2
⑥	その他	0

設問6：平日の平均在宅時間（睡眠時間を除く）		
①	2時間未満	0
②	2～4時間未満	5
③	4～7時間未満	11
④	7～12時間未満	8
⑤	12時間以上	3
⑥	その他	0

【参加の動機について】

設問7：市民討議会の手紙（参加のご案内）が届いて、どのように感じましたか。		
【複数回答可】		
①	面白そう	12
②	良い取組み	12
③	新しい取組みへの期待	9
④	選ばれてよかった	5
⑤	なぜ討議をするのか不明	0
⑥	実際に何をするか不安	7
⑦	つまらなそう	0
⑧	とくに感想はなかった	1
⑨	その他	1

設問8：なぜ、市民討議会への参加を決めましたか。【複数回答可】		
①	市民討議会が興味深かった	20
②	テーマが興味深かった	2
③	日程的に都合がよかった	5
④	町のために協力したかった	12
⑤	町民の役割として大切だと思ったから	12
⑥	新しいことにチャレンジしたかった	7
⑦	町から手紙が届き参加しなければならなかったと思った	1
⑧	日頃から町に言いたいことがあった	3
⑨	その他	1

設問9-1：謝礼の必要性について、どのようにお考えですか。		
①	必要だと思った	15
②	不要だと思った	8
③	その他	4

設問9-2：「設問9-1」で①を選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか。		
ア	謝礼 1,000 円	2
イ	謝礼 3,000 円	7
ウ	謝礼 5,000 円	0
エ	謝礼 10,000 円	0
オ	謝礼品 1,000 円程度	6
カ	謝礼品 3,000 円程度	4
キ	謝礼品 5,000 円程度	1
ク	謝礼品 10,000 円程度	0

設問9-1：③その他		
○どちらでもいいけど、あったら嬉しいことは嬉しい。参加記念メダルとかでも。		
○無くてもOK。あっても良いかも。		
○わからない。討議する内容や重要性によっても違うと思う。どういう立場で参加を求められているのか？内容性に重要性、必要性があるのなら、それなりの報酬があっても良いと思う。形だけの討議なら必要なし。		
○記念品として形に残るモノがあればよいと思いました。		

(2) 事後アンケート 回答：27名

設問1：今回の市民討議会について、感想や印象をお聞かせ下さい。		1	2	3	4	5
		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えな い	どちらかと言え ば そう思わない	そう思わない
A	市民討議会はおもしろかったですか	16	8	2	1	0
B	討議の進め方はわかりやすかったですか	8	14	4	1	0
C	進め方に関する説明は十分だと思いましたか	7	14	4	2	0
D	討議1のアイスブレイクで話しやすくなりましたか	11	13	3	0	0
E	各回の情報提供で、討議がおこないやすくなりましたか	8	7	7	4	1
F	討議1のテーマは、話しやすかったですか	15	8	4	0	0
G	討議2のテーマは、話しやすかったですか	4	6	6	5	6
H	討議を通して自分の考えが深まりましたか	8	13	4	2	0
I	グループ発表は、全員の意見が十分反映されて いましたか	11	13	3	0	0
J	各班の討議報告で、他の参加者の意見がわかり ましたか	18	7	2	0	0
K	市民討議会が町民の声を反映させるのに有効な 手法と感じましたか	11	9	7	0	0
L	討議に参加して、町民が「まちづくりの主役」 という印象が強まりましたか	10	5	8	0	4

設問2：グループごとの話し合いは、円滑に進みましたか。		
①	円滑に進んだ	9
②	やや円滑に進んだ	14
③	どちらともいえない	1
④	やや行き詰ったときがあった	2
⑤	何度も行き詰った	0
⑥	その他	1

どのようにすれば、より活発な討議が出来ると思いますか。

- さまざまな意見を受けて、ふせん作にもスキルが必要かも
- 充分活発だったと思うが、やはり方向修正する役割の方の力量は大切だと思う
- まとめる人がしっかりしている
- わからない
- テーマがわかりにくい。きちんと伝えてほしい
- このような機会が増えて、コーディネーターさんや参加される方が慣れてくることも大事な要素と思います
- 意見の交かんとか、目的がわかれば、もっと話し合いが出来ると思います。テーマ以外の話し合いもしてもいいのかと思います。(人とのつながりのコミュニケーションとしても…)
- 否定的な意見がなくよかった
- 討議を本格的に深める場合は、やはり事前にテーマを知らせておいた方がよいと思います。事前にある程度、各々、調べてくると話し合いが深まると思います。
- 話のつながりが有る無いで、分かりやすい分かりにくいがあると感じました
- 提起を具体的に。抽象的な提起では深い討議ができない。
- テーマがわかりやすく、ファシリテーターの助言にもよる。
- 目的と主旨の明確化
- 討議時間をもっと長くして欲しい。
- もっと身近な町の事についてのテーマの方がイメージがわきやすく、意見を言いやすい

設問3：討議の際、1つのテーマについて平均して何回くらいお話されましたか。

①	10回以上	4
②	7回～9回	3
③	4～6回	16
④	1回～3回	3
⑤	0回	0
⑥	わからない	1

設問4：市民討議会ではじめて顔を合わせる他の町民との会話について、どのように感じましたか。【複数回答可】

①	さまざまな考え（発想）が聞ける楽しさ	17
②	さまざまな世代の意見が聞ける楽しさ	22
③	同じ寒川町民としての共感や連帯感	10
④	はじめて会う人との会話における抵抗感	1
⑤	意見を言うのになれておらず、話しにくい感じ	2
⑥	その他	1

設問5：今後、同様に市民討議会の案内が届いた場合、何を条件に参加を決めますか。		
①	日程	13
②	内容・テーマ	16
③	謝礼の有無と金額	1
④	案内があればぜひ参加したい	5
⑤	条件を問わず参加しない	2
⑥	その他	2

設問6：市民討議会に参加して、謝礼の必要性について、どのように思いましたか。		
①	必要	13
②	不必要	14

設問6-1：設問6で「①必要」と選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか。		
ア	謝礼 1,000 円	3
イ	謝礼 3,000 円	5
ウ	謝礼 5,000 円	1
エ	謝礼 10,000 円	0
オ	謝礼品 1,000 円程度	3
カ	謝礼品 3,000 円程度	3
キ	謝礼品 5,000 円程度	0
ク	謝礼品 10,000 円程度	0

設問7：今後、市民討議会をはじめとした町民参加（町政への参加）について、どのようにお考えですか。		
①	積極的に参加したい	10
②	案内があれば参加したい	14
③	参加しない	2

設問7-1：設問7で「③参加しない」と選択した方は、その理由をお書き下さい。		
○他の人にまかせます。		
○近々引っ越すので寒川町に訪れるひんどがへるから		

設問8：市民討議会に参加して感じたこと、市民討議会に期待することなど、自由にご記入をお願いします。		
○ふだん接する機会のない町民の方とお話ができて、とても有意義でした。継続的に開催してほしいです。また、この意見をぜひBOOKマーケットに反映してほしいです。		
○町に住んでいる者として、課題など何かしら知って、話しあえたらという思いで参加しました。いい経験となりました。		
○様々な方の意見がきけて良かった。テーマについて、もっと財政等に関する事かと思っていたので、興味のもっていなかったことについて戸惑った。		
○どうしたらイベントを盛り上げる側を増やせるのか、色々な意見が有り、為に成りました。		
○テーマの説明②が、テーマの説明ではなく、話が長かった。		

- 2つのテーマを話すなら全く違うテーマがいい。あまり町のために何かできた気がしない。もっときちんとテーマを決めてほしい。あと寒かったです。
- とても人とのかかわりがあり良かったと思います。人とのかかわりからもっと市民討議会に参加し、自分の意見など、話しが出来れば幸せです。
- 今回は様々な年代の意見、考え方、発想など聞くことができとても楽しく有意義になるものでした。このようにへだたりのなく公平に話し合う、腹を割って町の人々が話し合う場は大切だと思います。限られた人でなく町の皆が気軽に参加できるものがあっていいと思いました。ありがとうございました。
- 今回は初回ということからか、一つのイベントについての討議であったが、今後はより政策的で町民に深く関わりのあるテーマを取り扱い、また、そこで取りまとめられたものを、その先どう活用するかを明示してもらえると、より協働という点ではよいと思います。
- 是非、今回のような話し合いを、行政に反映させてほしいと思います。グループ発表は3分でもよいかと思います。討議会をスムーズに進めるのが目的ではなく、市民の意見を聞くのが目的なら、こうした情報共有の場、時間をもっと割けるとさらに、よくなると思います。
- 町の活セイ化がんばって下さい
- 情報の提供が雑。トイレが少ないので休憩時間が短い。一人一枚メモ用紙がほしい。話が長い。関係ない話はいらぬ。退屈。どんな会になるのか楽しみにして来ました。色々な方の話を聞いて、話したことで、町への貢献だけでなく、自分の視野も広がったと思います。ぜひもっと改善して続けて下さい。
- 色々な意見が聞けて良かったです。まちづくりがより良くなればと思います。
- いろいろな方が参加した方が良くと思う。年齢もさまざまな方が参加しやすい条件である必要性を感じました。町民の為の討議会というよりは、イベントをどう成功させる為にとという色が濃く、内容としてどうなのか？と思いました。町民生活の向上につながるもののテーマでやってもらいたいです。
- 様々な年代とお話しさせて頂いて楽しかったです。町民の意見が今後反映されてくれればより嬉しいです。ありがとうございました。
- 若い人の意見が聞けて良かった。
- 町民の声を反映させて欲しい
- いろんな世代の方々と、自由に話ができ、楽しかったです。ブックマーケットには、今度参加しようと思います。ありがとうございました。
- 日頃、生活している中で感じている事などが、もう少し意見できれば良かったです。
- テーマがイマイチでした。2回目の討議、わかりづらい。クーラーききすぎて寒かった。託児を利用しましたが、長時間預けるにしては部屋がせまいし、楽しめない。

(3) 不参加者アンケート 回答 445 名

【回答者の属性について】

設問 1：年代		
①	10 歳代	17
②	20 歳代	63
③	30 歳代	98
④	40 歳代	86
⑤	50 歳代	71
⑥	60 歳代	73
⑦	70 歳代	36
	無回答	1

設問 2：性別		
①	男性	143
②	女性	238
	無回答	64

【市民討議会について】

設問 3：寒川町「市民討議会」を、ご存じでしたか。【複数回答可】		
①	よく知っている	4
②	少し知っている	31
③	言葉を聞いたことがあった	102
④	初めて知った	308
	無回答	2

設問 4：寒川町「市民討議会」の案内が届いたとき、どのように感じましたか。【複数回答可】		
①	面白そうに思った	99
②	不思議に思った	155
③	分からない	146
④	その他	36
	無回答	12

設問 4：④その他
<p>○何とも思わなかった／○寒川町、町民の意見を取り入れようと頑張っている／○参加したい気持ちもあったが働いているので難しいです／○面倒くさそう／○大変嬉しく思いました／○内容がどの様なものか／○参加したいと思った。医療従事者として、～健康維持増進の How to～。災害救援支援活動の How to、日頃から感ずるものあり。町長の意見 BOXへメール送ろうかなあと考えていた所でした／○参加しても変わらないと思う／○特に興味はない／○なんで、私なのー／○議題など前もって知らせてくれると参加意欲がもう少し湧いたかと思えます／○市民討議会ではなくて町民討議会では？／○困る／○自分は参加できないが、このような参加の機会を待っている方にとっては活動のきっかけとなり、まちづくりに期待できると思う／○何かな？と思った／○びっくりしました／○とても興味深く感じた／○特別に思いませんでした／○広く意見を聞く姿勢が良いことだと思った／○寒川町を良くしようと思う熱意が伝わった／○なぜ私に？と思った。</p>

設問5：スケジュール【複数回答可】		
①	半日だと長時間に感じる	5 6
②	半日の時間を費やすことはできない	5 4
③	土・日曜日は都合が合わない	1 0 1
④	今回は都合が合わない	2 2 8
⑤	その他	4 4
	無回答	1 1

設問5：⑤その他
<p>○平日は大学がある／○無理、時間が取れない／○仕事のため、申し訳ありません／○夜間のほうが都合がある／○休日AMはのんびりしたい／○今回は体調を崩しておりまして残念ですが出席できません／○半日くらいでちょうど良いと思う／○討議テーマにより時間が変わると思います。よって、半日が良いかは不明です。／○仕事が不規則の為不可／○重症心身障害者で国立神奈川病院入院中なので参加できない／○時期が7月で個人的に忙しい時期で残念だった／○初めてなので参加しづらい／○土日仕事の方もいると思うので、平日の夜とかの開催の会があっても良いのでは／○病気でかけられない／○雨天で天気悪ければ参加してもいいかな／○子どもが小さいので行くかどうか迷っているうちに期日を大幅に過ぎてしまいました。申し訳ありません／○長期療養生活のため出席不可／○自分の身の回りのことでいっぱいです。／○子供が小さいのであずけられない／○日時の記載がないため／○体調が良くない／○入院している／○食事時間にかぶらないように午後からの方がいいのでは？／○体が不自由のため出られません／○1日でも半日でも座っていることが難しい／○10年前であれば熱意を持って取り組む力もあったが最近はパッションにかけるので無理！！／○丁度良い時間だと思う／○①～④ 平日、土日、すべての日程が合わないから／○3時間は長い／○土曜日は仕事で行けません／○夜でないと参加できる可能性は低い／○土曜日は仕事があり、参加が難しいです。／○体調がすぐれないので／○平日は休めない／○7日（土）たまたま仕事の為／○グループ・ワークに抵抗を感じる／○常勤で平日仕事していて、子どもとの時間を学生のうちは大切にしたい、土・日は難しいです。大きくなったら考えます。</p>

設問6：今回参加されなかった理由は何ですか。【複数回答可】		
①	日程が合わなかったから	2 6 6
②	興味のないテーマだったから	2 7
③	行政の事業には興味がないから	3 5
④	面倒だから	6 1
⑤	その他	9 4
	無回答	5

設問6：⑤その他

○仕事／○グループ討議・発表が苦手／○土日は家族で行動することが多いので、夫婦一緒だったら参加を検討するかも／○仕事をしているため無理です／○土日は家族と過ごしたい／○すでに辞任されましたが、交通事故を起こして議員をやっていた方がいました。TV等かなり放映されていた。不愉快な思いがいっぱい。人の上に立つ人は公私ともに信頼できる人がいない。／○法事の為／○普段、仕事をしていて8ヶ月の子どもと関われないのでその時間を取りたいから／○多数の方に送っているとの事だから／○妊婦で自宅安静のため参加できません／○高齢のため大切な話し合いには無理だと思うので。／○日頃仕事をしているため、子どもとの時間を大切にしたいから／○難聴なので／○国、県、町の行政の事業には大変興味がございまして体調が悪いのが悔しいです／○時間を11：30位までが都合が良いから／○働いていない人間が意見を言う権利はないから／○テーマに具体性がなくよくわからない／○テーマが分かりません。／○③と同じ、くわえて、話をするのもできないため／○まちづくりをするためには、その財政確保がまずは第一ではないですか？（企業誘致とか）／○初めて知ってどの様なことをやっているのか知ってみたい気もするが、一人で…というのが。話すことができないかも。見ているだけでも。／○仕事の都合で、土日に関わらず長時間の外出が困難なため／○知り合いにあいたくないため／○現在会社勤務をしていること、また今後において仕事があります／○子供を託児に預けてまでは…／○障害者の私になぜとどいたのか、参加できるわけがないのに。（代筆母）／○体調の理由のため／○病院に通院しているから／○小学1年生の子を預けることが難しく仕事へ同伴させています。欠勤とどけを出しづらいのです。すみません。／○私達が声を上げて決まるまでに時間がかかって達成されないと思ったから／○前より予定が入っていた／○③と同じ／○足が悪くて無理です／○体が悪いから／○上と同じ／○仕事の都合／○案内を送っている人数に対し、募集人数は少なく、選ばれるかどうかわからないのに予定を調整するのが面倒だった／○知らない人との交流が苦手だから／○知らない方と話すのが苦手なので／○当日仕事がありますので／○子供が小さいのであずけられない／○日時の記載がないため／○興味がないから／○子供が小さく参加が難しい（0歳と3歳）

○臨月で出産が近い／○体調が良くない／○テーマが漠然としていてわかりづらい／○仕事／○仕事だったから／○0歳児の育児中、預け先がないので不参加／○体調が悪いため、予定を入れられない／○入院している／○このような討議会が何回開催されているか存じ上げませんが、ここでの議論が成果としてどのような形で成果物になるのか見えません／○主人が仕事のため、子ども（0歳と3歳）を預ける場所がない／○今のところ良いアイデアを持っていないから／○継続的に参加が難しい／○出産が近いので／○体が不自由のため出られません／○認知症のため／○夕方から勤務のため／○交通の便が悪いのと年齢／○上記に同じ／○娘の中学の最後の大会と同日だったため、ごめんなさい／○参加したいのですが、良いアイデアを持っていない。発言するのが苦手。／○①～④のすべて／○3時間は長い／○子どもが生まれただけ／○苦手／○土曜日は仕事で行けません／○討論会のようなものは苦手だから／○都合が合わない／○脳梗塞の後遺症の為、行動が不自由な為

設問7：次回、このようなイベントの案内が届いたら、どうしますか。【複数回答可】

①	日程が合えば、参加する	1 2 7
②	興味のあるテーマならば参加する	1 3 8
③	謝礼等があれば参加する	6 4
④	できれば参加したくない	1 2 4
⑤	その他	4 6
	無回答	7

設問7：③謝礼当があれば参加する

ア	謝礼 1,000 円	6
イ	謝礼 3,000 円	2 0
ウ	謝礼 5,000 円	1 7
エ	謝礼 10,000 円	8
オ	謝礼品 1,000 円程度	8
カ	謝礼品 3,000 円程度	1 1
キ	謝礼品 5,000 円程度	1
ク	謝礼品 10,000 円程度	2

設問7：⑤その他

○町、全員の声を聞きたいのならこのようなアンケート用紙を送られる内容に、紙面で町の声を聞く項目があってもよろしいのでは。／○子育てが終わってれば、もしくは手が離れてれば／○参加できない人、抽選に外れた人にテーマに関する意見を汲み取れるようなアンケート用紙を同封すると良いと思う／○元気な体になりましたら出席望みます／○町のためにご尽力ありがとうございます／○市民討議会の案内状を受理いたしました。参加の意欲ありますが、私は毎週金土の勤務あり、休暇願いを提出しての参加となります。残念ながら、抽選で25人とのこと。休暇取得しても参加確定ではないので、今回は断念致します。／○寒川町は税金（住民税）が高すぎます／○家族の世話で忙しく申し訳ありません。／○仕事を休みたくないので厳しい／○町民の意見がどこまで町政等に反映されているか気になる。月1や3ヶ月に1回とか、こうなっていますとかの書面とかがあると、より参加者も増えたり興味のある方も増えるのではないかと思います！／○小出川、東岡田、寺尾橋の間の中洲をとってほしい／○③と同じ／

○同年代で参加者がかぶらないのであれば…いろいろな年代+知り合いではないメンバーであってほしい／○理由：遠慮して意見が言えなくなってしまうそうなので（知り合いがいた場合）／○ごめんなさい／○お茶、お弁当など提供でもいいかも？「ゴミ袋」提供でも1000円分くらい／○行政に個人が何を言っても反映してもらえないと思いますが、障害者が住みやすい町になることを願います。例えば、気軽に参加でき障害者同士交流ができる場、サークル、活動の企画など／○とてもいいイベントだと思いますが2500人無差別？仕事を持っている人、主婦・子育て中、学生とか分かれて討議した方がいいのでは又テーマ別／○謝礼の金、品はものに拘りなく出した方がよい／○討議する程、町のことをまだ知らない／○その時点の都合と内容で考える／○お金が多くても出たくない／○伝えたいこと、変えたいこと等が自分のなかで出てきたらこういう場は発信のいい場だと思うので参加したいと思う／○体が悪いから／○天気の日にはランニング、自転車、バイクいずれかをやっているのでも先ほどの天気悪ければ参加OK／○QUOカードとか図書カードとか500円くらいでもいいと思います／○返信が遅くなり申し訳ありませんでした／○いろいろ考えはあるが、わざわざ行ってまで発言しようとは思わない／○参加の意思を示した場合、選ばれる確率が高いのであれば参加する／○謝金・謝礼品などがあれば嬉しいので参加する人は増えると思う／○わからない／○寒川の自宅以外に生活の拠点が県外にあるので参加は無理です（一ヶ月で自宅にいるのは10日くらい）／○発送が遅すぎる、日程の調整が難しい／○他市町への転出が考えられるため／○時間と労力の対費対効果です。もっと活動についてPRしたらどうでしょうか。／○地域のイベントの企画やプロデュースに関心があるため、ぜひ参加してみたい。もっと寒川オンライン、紙でのアンケート、電話調査ならいくらかは協力したいが、討論、少し荷が勝るこども、学生などでやるのは有意義だと思う／○年代毎に興味が違うので半日ではまとまらないのでは…と思います／○突然の案内に驚きました。まさか自分が抽選にあたるとは…。目的を読みましたが、具体的に寒川町をどのように変えていきたいのか見えてきませんでした。それを探るための者なのかもしれないと思いますが、この案内で自分が何を考え、何を議論するのか分かりませんでした。事業として、やりたいことは分かりますが、ばくぜんとしすぎているように思います。／○町が元気になるような、「寒川町といえばこれ！！」と言えるような活動やイベントが増えればいいなと思います。／○仕事が休みの日にあれば／○上記(①～④)に同じ／○住宅地に面した土地について一言。隣に住宅があるにも拘らず、土留めをしていない畑があり、土砂の垂れ流しがひどく低地に流れ込み側溝を詰まらせる箇所が多く見られる為、市民討議会で検討願います／○具体的なテーマがわかれば参加しやすいと思う／○たとえ謝金があっても参加する気はまったくない／○2時間くらいなら良いのでは／○どちらとも言えない／○商品券でもあり／○テーマが我がまちプロデュースとのことだったので、駅前、店舗内などに三井住友銀行のATMができたならうれしいです。寒川にないので少し不便です。よろしくお願いします。

5 講評

我がまちをプロデュースする楽しさ次の一步につながる

直接市民から意見を聞く機会が設けられても、そこに参加する市民は、関係者や日頃から市政に関心をもつごく一部の人であるのがほとんどです。そこで、広く一般市民の声を聴くことができる市民討議会がどのような場になるのか興味を持ちました。さらに、私の関心を喚起したのは、「こころ・おもい・叶える 初めての我がまちプロデュース」というテーマです。何か新しいものを創りだしてほしいという能動的なメッセージを感じます。

グループ討議が始まると、初対面と思われる人のなかで、活発な討議が行われました。「参加の動機について」事前アンケートからは、「市民討議会やテーマが興味深かった」と回答した人が80%、事後の感想や印象も「どちらかと言えばを含めるとおもしろかった」が90%弱となったものの、深い討議にはイメージのわきやすい「テーマ」設定が必要です。「町のために協力したかった」と「町民の役割として大切だ」を合わせると89%、「さまざまな世代の意見が聞ける楽しさ」や「初めて会う人との共感や連帯感」が生まれたことは意義深いと思います。

討議1「ブックマーケットを楽しんでもらい、来場者を増やすには」では、子ども連れで行きやすさや、楽しめる場所にする工夫、本の売上げの一部を図書館の充実のために寄付、若年層の集客を狙うインターネットやSNSでの告知の工夫などが出されました。当事者である町民から出されたアイデアが一つでも実現に結びつけば行政への信頼と共に市民のプロデュース意欲は高まると思われまます。

討議2「イベントを支えるスタッフを増やすにはどうしたらよいか」で出されたアイデアを積極的にブックマーケットに活かしていくことが大いに期待されています。小さくはじめて大きく育てるために、参加のしやすさと広報がカギとなります。単発で好きなところだけでもお手伝いできる、子どもを連れていける、広いネットワークとSNSの活用など。全体を通して、立場の違う人の意見を聞いて、新しい発見がたくさん生まれるのを身近に感じ共感を覚えました。

テーマを深く考えてアイデアを出すための工夫、話し合いながら意見を集約するスキルも経験を重ねることにより培われます。市民討議会をきっかけに、まちづくりに関心をもち、我がまちを愛する寒川町民の方々のプロデュース力が発揮されますことをお祈りいたします。

特定非営利活動法人NPOサポートちがさき 代表理事
益永 律子

6 寒川町「市民討議会」実行委員会の動き

1	4月26日	寒川町「市民討議会」の実施等に関する協定の締結
2	4月27日	第1回寒川町「市民討議会」実行委員会 実行委員会規約、広報レイアウト・原稿、討議テーマ、マスタープランの時の年齢抽出資料、委託契約書・委託仕様書、市民討議会の懸案事項等
3	5月8日	寒川町「市民討議会」説明会開催
4	5月29日	第2回寒川町「市民討議会」実行委員会 参加者依頼書、討議会概要、承諾書、不参加者アンケート、案内状、寒川町「市民討議会」について、確認事項、寒川町討議会・討議テーマ、市民討議会の報告・検討事項等
5	6月22日	模擬「市民討議会」実施
6	6月27日	市民討議会事前アンケートの実施
7	7月7日	市民討議会「こころ・おもい・叶える 初めての我がまちプロデュース」～寒川町民の力をまちづくりで発揮！～開催
8	9月27日	第3回寒川町「市民討議会」実行委員会 市民討議会の振り返り、事前・事後アンケート結果の共有、実績確認および反省点の共有、報告書の内容について
9	11月	市民討議会「こころ・おもい・叶える 初めての我がまちプロデュース」～寒川町民の力をまちづくりで発揮！～報告書完成



あとがき

寒川町において「市民討議会」が開催された前例は無く、この初めての開催にあたっては、多くの難しさがありました。その困難を乗り越え、無事にこの市民討議会を開催することができましたこと、まず、多大なご協力をいただきました関係各位の皆様、そして参加者はもちろん、参加に至らなかった町民の皆さまにも御礼を申し上げます。

市民討議会は、町民の皆様に分け隔てのない意見を拾い出し、課題について、町民自らが考える機会を作るという狙いがありました。寒川町に限らず今の日本においては、無理をしなくても平和で平穏な生活ができる環境が、先人たちの甚大な努力によってでき上がっています。しかしながら、世界的な視点で見ると現状は決して安泰なものではなく、日本や寒川町においても深刻な課題は山積しています。これらについては、私たち自身が真剣に考えなければなりません。行政機関や政治家、一部の人間が考えるものでなく、住民ひとりひとりが考えるものです。公共施設を作ることから、ごみの出し方まで、私たちが当事者意識を持ち決めていくことで、この町に対する愛着も増し、環境も改善していくものと言えます。

多くの課題に対して、この寒川町の住民は各自の意見を持っていることが、市民討議会を進行させるなかでよくわかりました。ただ、よい意見を持っているまで、とも言えます。課題に対する賛否や提案は得ることはできたのですが、「では、それをあなたがやるとしたら、どうしますか？できないとしたら、その問題は何ですか？」と質問すると、今まで積極的だった発言が途端に躊躇されている姿も多くあり、それも印象的でした。もしかすると、自身の出した意見は自分ではない「誰か」が反映して実現するもの、という固定観念ができ上がっているためなのではないのかと感じます。

また、市民討議会の手法は、個々の意見をただ述べ、聞くだけでなく、討議グループ内の他の意見を踏まえ、自身の意見を調整して考える過程が入ります。自分のことだけでない他の人の利害も思いやる必要が出てまいります。これは、今の日本の社会において、欠けてきてしまっている部分ではないでしょうか。他者の利害と自分の主張を建設的に調整する能力を向上させる効果が、市民討議会の手法にはあると感じることができました。参加者におかれましても、自分自身の意識が大事であることに気が付かれた方も多いと思います。

今回は、申込者が多数となり、参加者の抽選がありました。また、都合がつかず申込を断念されている方も多くいらっしゃることもしかりました。引き続き、この「市民討議会」の回を重ね、もっと多くの町民の皆様「自分がまちづくりの主役」であることを体験していただき、皆でその力を発揮して、よりよい寒川

町に結び付けていけたらと願います。

寒川町「市民討議会」実行委員会 副委員長
山本 毅（一般社団法人寒川青年会議所）



委員長 山田 修嗣



副委員長 山本 毅



平成30年度 寒川町「市民討議会」報告書
平成30年11月発行

編集 寒川町「市民討議会」実行委員会
発行 寒川町「市民討議会」実行委員会